

きれいな町をつくりたい

寺田 梨和

私は最近の町の様子を見てこまっしている
ことがあります。それは道路や海にとってもた
くさんのゴミがおちている事です。ゴミが落
ちていると、心も体もすっきりしません。

私たちの学校では、毎年7月にスパビー
チに行きます。スパビーチには、すなはまに
とてもたくさんさんのゴミが落ちています。なの
で、全校でスパビーチのゴミを拾いをします。

スパビーチは海ですが、海に関係のないも
のもたくさん落ちています。なぜでせよう。
それは多分、とんできたゴミ、海から流れて
きたゴミ、花火大会などのお祭りです。てられ
たゴミなど、全て、みんなが気をつけられへ
らせるゴミです。ちゃんとゴミをゴミ箱にす
てれば、ゴミをへらすこともできますし、じ
やまな物もなくなります。うれしいことです。
ゴミはゴミでも、あぶないゴミもあります。
「タバコ」です。いつも登下校中に落ちてい

て、とてもいやです。

そこで、登下校中にみつけたタバコを軍手
をはめて拾うことにしました。ちよっ、タバ
コがなくなっただけでも心がすっきりします。

最近、空きカンもたまに捨てています。
空きカンはよく、自動はん売機の近くに落ち
ています。コーヒーなどのカンが多いので、
大人がよくすてていると思っ、ています。なぜ
子どもができて大人ができないのでしょうか。

私は、カンをすてたり、タバコをポイすて
したりする人に言いたいです。『あなたはは
ずかしくないのですか。ゴミがすてられてい
て何も思わないのですか。自分の町をきれい
にしたいと思わないのですか。』と、私は町を
きれいにして、日本に、いえ、世界に、私た
ちの町はきれいだよということを自まんした
いのです。町にゴミがないよということも。

私は、そんなきれいな町を目指して、これ
からも登下校中にゴミ拾いをしていきたいで
す。きれいで自まんできる町づくりのために。